



令和4年9月22日

内閣府(防災担当)

令和4年度 大規模地震時医療活動訓練について

1 訓練の趣旨

南海トラフ地震を想定し、「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」（平成27年3月30日中央防災会議幹事会決定、令和4年6月10日最終改定）に基づき、国、地方公共団体等が連携して、大規模地震時医療活動に関する総合的な実動訓練を実施し、当該活動に係る組織体制の機能と実効性に関する検証を行うとともに、防災関係機関相互の協力の円滑化を図る。

2 訓練の概要（訓練実施箇所ごとの訓練概要は別紙参照）

実施日	令和4年9月30日(金)及び10月1日(土)
訓練想定	南海トラフ地震により、静岡県、愛知県、三重県及び和歌山県に甚大な被害発生を想定
主な訓練項目	① 地域医療活動訓練の実施 (本部運営、域内搬送、参集拠点設置、SCU運営等) ② DMATの参集、活動訓練の実施 (各被災県への配分、災害拠点病院等での医療活動等) ③ 広域医療搬送訓練の実施
参加機関等	内閣官房、内閣府、警察庁、消防庁、厚生労働省(DMAT事務局含む)、国土交通省、海上保安庁、防衛省、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、日本赤十字社、中日本高速道路株式会社、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県、北海道、富山県、鳥取県等

3 問合せ等について

(1) 問合せは、次の区分によりそれぞれの問合せ先へお願いします。

① 訓練概要のうち、

- ・ DMAT の訓練内容等に関することは「3 厚生労働省DMAT事務局」へ
- ・ 道県の訓練内容等に関することは別紙「(〇〇県)の訓練概要」の各参加道県担当課へ
- ・ 広域医療搬送訓練に関することは「1 内閣府(防災担当)」へ

② 大規模災害時の医療体制、制度等に関することは「2 厚生労働省」へ

③ 大規模災害時の国の機関の連携に関することは「1 内閣府(防災担当)」へ

④ その他問合せ先が不明な場合等は「1 内閣府(防災担当)」へ

(2) 訓練実施日における実施場所での取材については、原則として入場登録等が必要です。

つきましては、その登録手続等について9月27日(火)までに各参加県担当課又はDMAT事務局にお問合せください。

また、取材時には、訓練の妨げにならないよう、現地担当者の指示に従ってください。

<問合せ先>

1 内閣府(防災担当)

地方・訓練担当 参事官補佐 矢竹 千洋

TEL 03-3503-2236(直通)

2 厚生労働省医政局地域医療計画課

災害時医師等派遣調整専門官 大山 慶介

TEL 03-3595-2185(直通)

3 厚生労働省DMAT事務局

(独立行政法人国立病院機構本部DMAT事務局)

市原 正行

TEL 042-526-5701(直通)

DMATの訓練概要（1/2）

○訓練の目的

- 大規模災害への対応能力向上のため、DMATの組織的な運用を検証
- DMATの参集とニーズに応じた被災地への配分
- 被災地から被災地外への傷病者の医療搬送

○訓練内容

- 必要なDMAT本部の設置と運営
- DMATの参集拠点への参集
- DMAT本部及びDMATによる医療機関の調査、被害状況把握
- 広域災害救急医療情報システム（EMIS）による医療機関の被害状況共有
- 医療機関への必要な支援活動実施
- SCUの設置及び運営、広域医療搬送の実施 等

○DMATの参加について

- 被災地内の医療機関：99医療機関（4県合計。災害拠点病院、DMAT指定医療機関等）
- 被災地外から参集、支援活動を行うDMAT314隊（約1,500名）
- 被災地外SCUの設置・運営を行うDMAT10隊（約50名）
- 訓練コントローラー約400名（DMATインストラクター等）

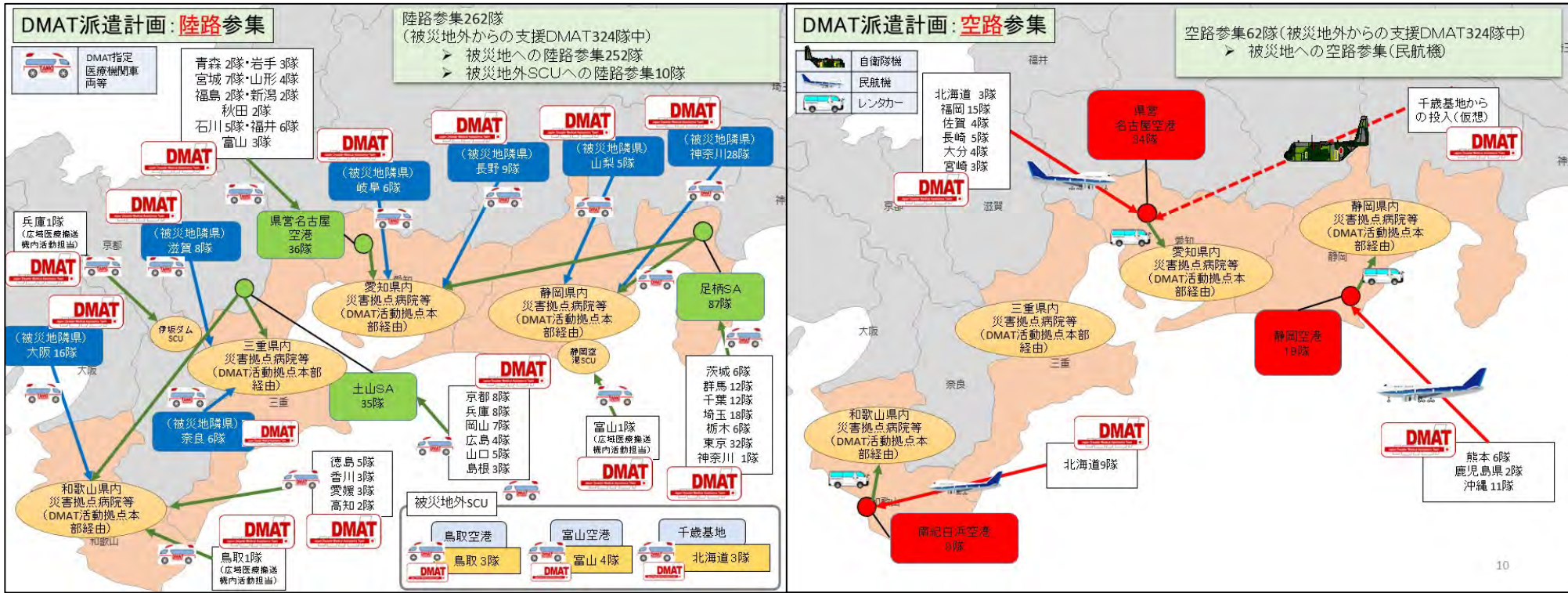
○訓練日程

- 9月30日（金）11時00分～：DMAT事務局及び被災地内のDMAT本部の設置、DMATの各被災県への配分等の連絡調整を図上訓練として実施
- 10月1日（土）終日：DMATが被災地に参集し、県庁、災害拠点病院等での医療活動を実動訓練、図上訓練を組み合わせて実施。また、被災地外でのSCU設置・運営、広域医療搬送訓練を実施

DMATの訓練概要 (2/2)

○DMATの被災地への参集方法

- 関東ブロック、中部ブロック、近畿ブロック：陸路
- 東北ブロック、中国、四国ブロック：主に陸路
- 北海道ブロック、九州・沖縄ブロック：空路



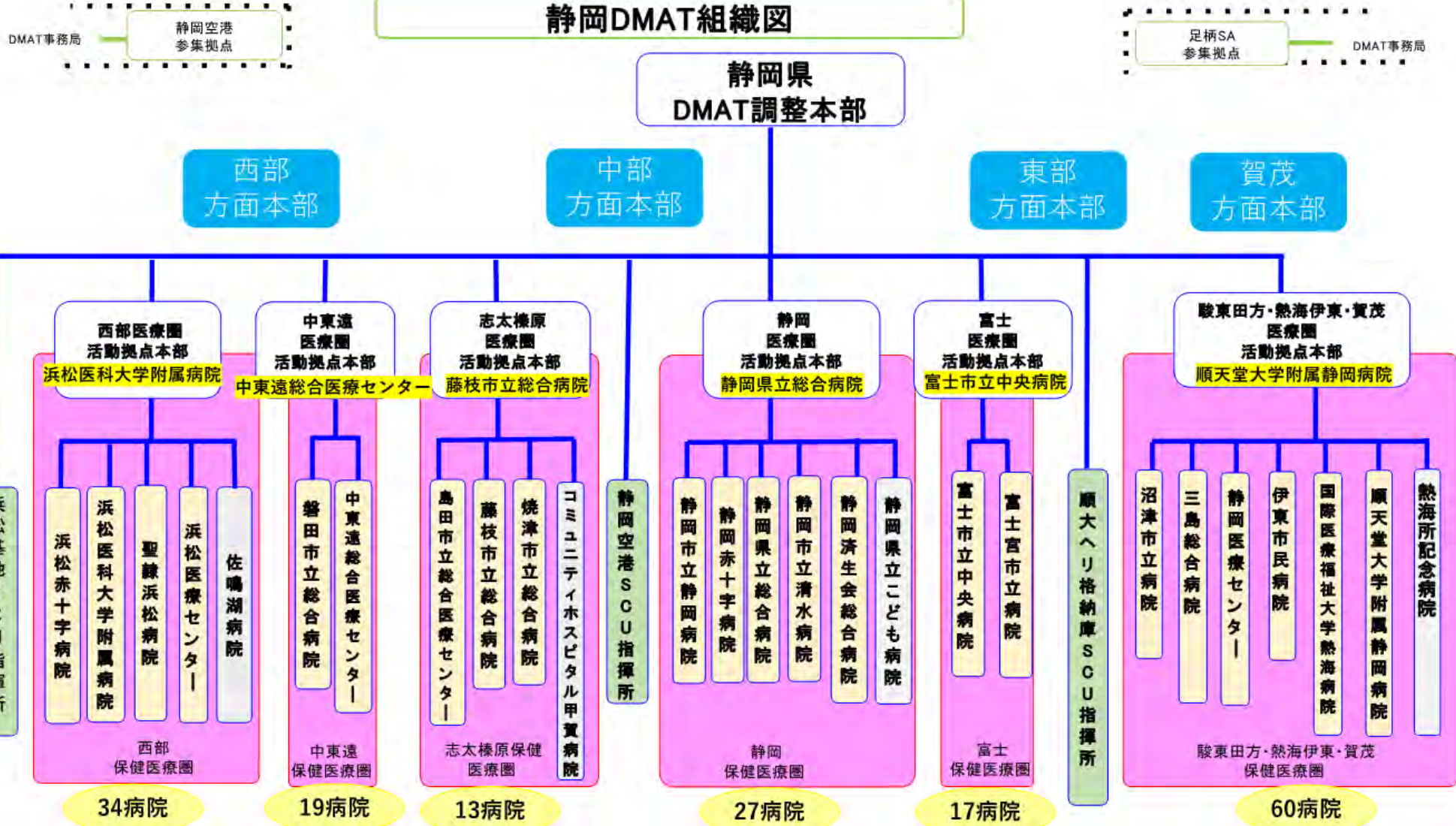
静岡県の訓練概要（1/2）

- 日 時： 令和4年10月1日（土）8時00分開始
- 場 所： 静岡県庁、県内災害拠点病院、富士山静岡空港、航空自衛隊浜松基地、順天堂大学医学部附属静岡病院ドクターヘリ格納庫、県内各所
- 訓練想定： 令和4年9月30日（金）午前11時頃、南海トラフ巨大地震が発生し、県内西部を中心に震度7を観測。
（被害規模は、静岡県第4次被害想定「レベル2（陸型ケース）」による。）
- 訓練概要： 県庁にDMAT調整本部を設置し、県健康福祉部医療救護班と連携した情報受伝達訓練。方面本部DMAT、DMAT活動拠点本部及びDMAT・SCU本部と連携した連絡調整活動。ドクターヘリ調整部（DMAT調整本部内）、ドクターヘリ本部（順天堂大学医学部附属静岡病院・聖隷三方原病院）及びDMAT・SCU本部と連携し、ドクターヘリ等の航空運用調整。
- 訓練参加機関： 静岡県、政令市（静岡市・浜松市）、関係市町、関係消防本部、自衛隊、海上保安庁、DMAT※、静岡DPAT、災害時小児周産期リエゾン、災害拠点病院、関係救護病院、県医師会、県看護協会、日本赤十字社静岡県支部、ライフライン関係事業者、協定締結事業所 等
※参加予定人数： 県内275名、県外約1,900名（被災想定4県合計）

取材等に関する問い合わせ先
静岡県健康福祉部医療局地域医療課
TEL：054-221-2543

静岡県の訓練概要 (2/2)

静岡DMAT組織図



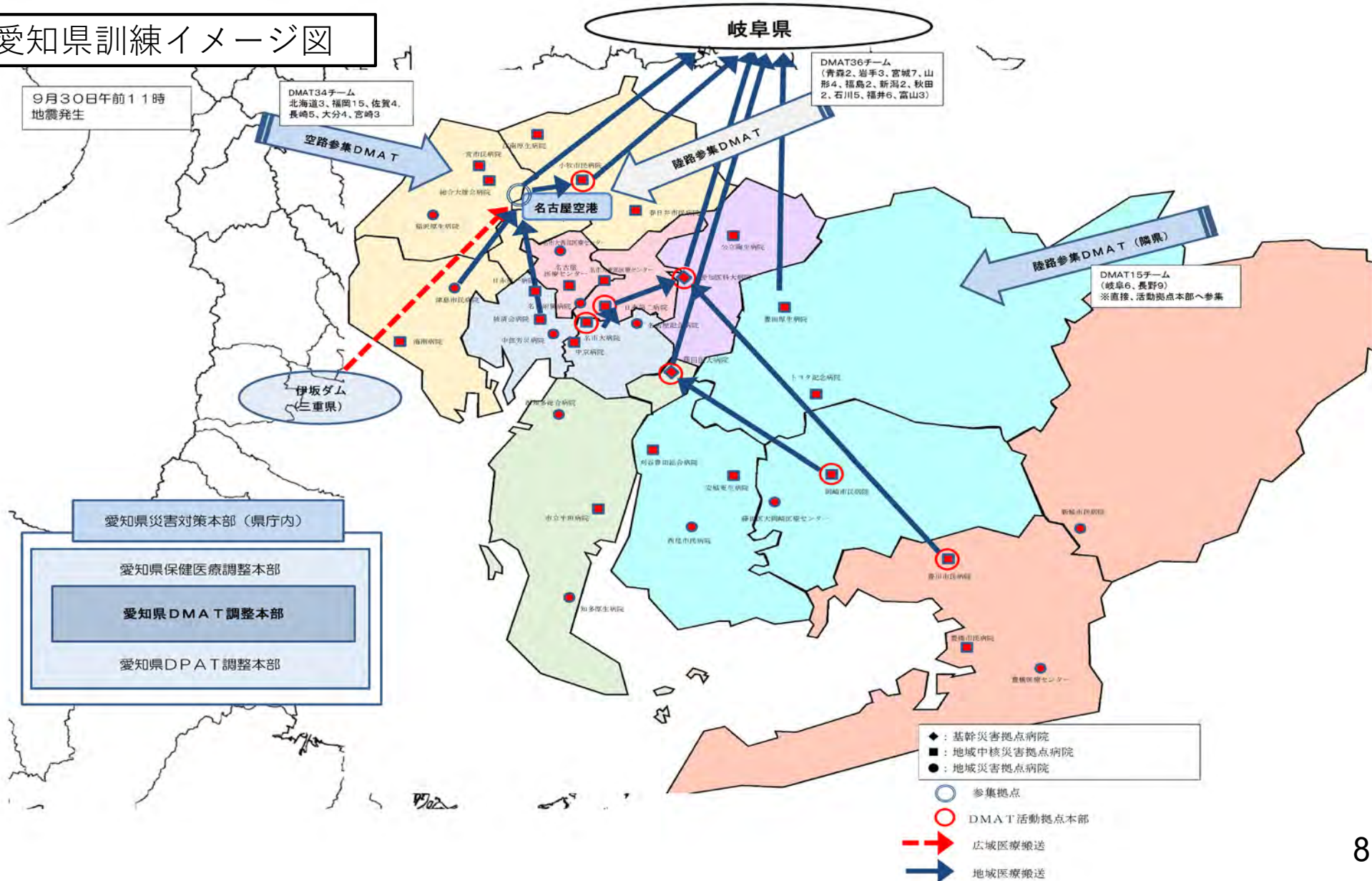
愛知県の訓練概要（1/2）

- 日時：令和4年10月1日（土）7時00分開始（予定）
- 訓練場所
愛知県庁、各災害拠点病院、名古屋空港、各保健所等
- 訓練想定
南海トラフ地震（県内最大震度7を想定）
- 訓練概要
保健医療調整本部（会議）運用訓練、DMAT（DPAT）活動拠点本部運用訓練、DMAT参集訓練、DMAT活動訓練、地域医療搬送訓練、広域医療搬送訓練、SCU運用訓練等
- 訓練参加機関
愛知県、厚生労働省DMAT事務局、愛知県警察本部、第四管区海上保安本部、陸上自衛隊第10師団、名古屋市、県内災害拠点病院、県内消防本部、日本赤十字社愛知県支部、中日本航空（株）等

取材等に関する問い合わせ先
愛知県保健医療局健康医務部医務課
TEL：052-954-6628

愛知県の訓練概要 (2/2)

愛知県訓練イメージ図

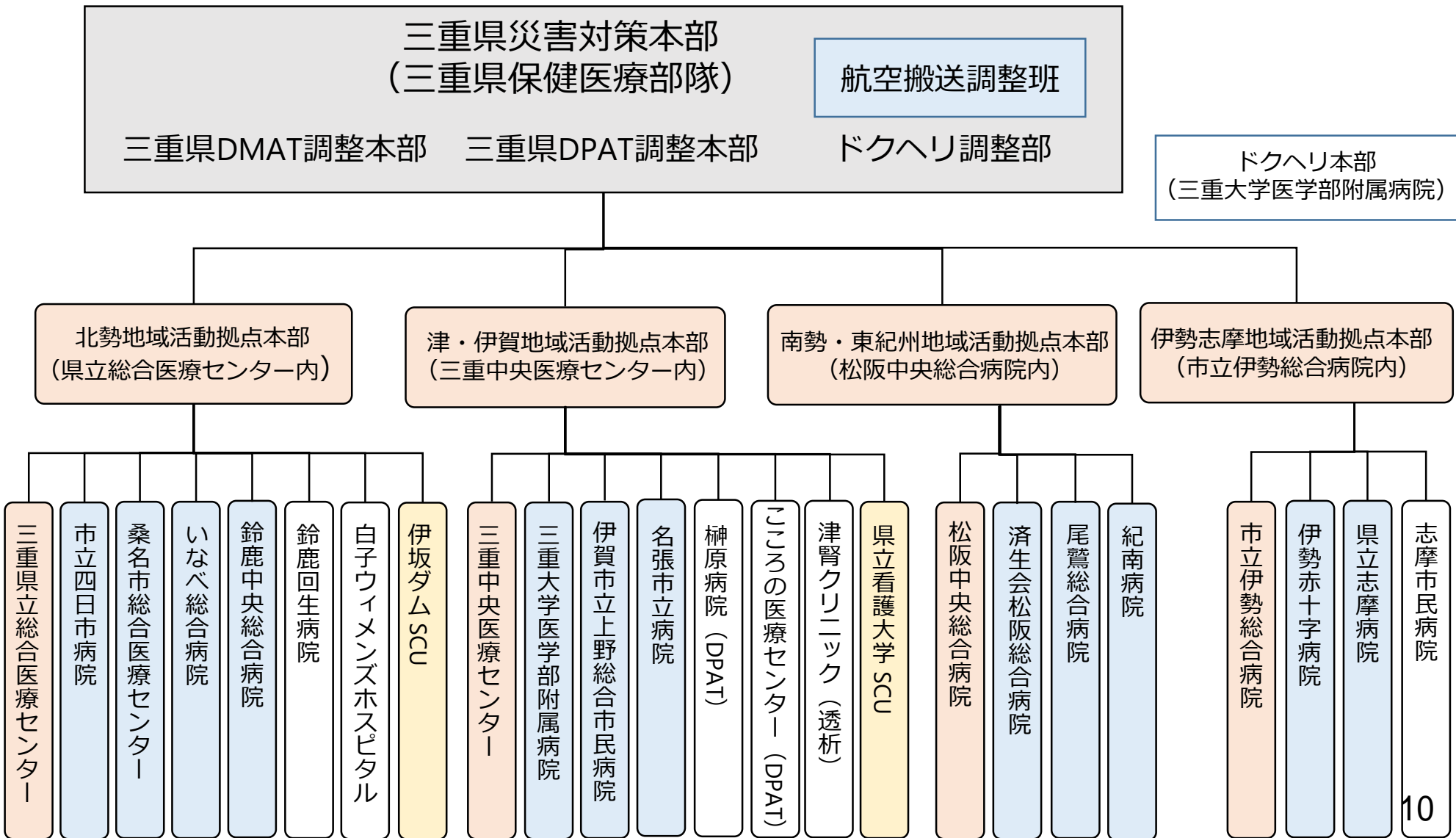


三重県の訓練概要（1/2）

- 日時：令和4年10月1日（土）8時00分開始（予定）
- 場所：三重県松阪庁舎、県内災害拠点病院及び一般病院、伊坂ダム
- 訓練想定：過去最大クラスの南海トラフ地震（県内最大震度6弱～7）
- 訓練概要：三重県災害対策本部、保健医療調整本部及びDMAT調整本部設置運営訓練、DMAT参集・派遣訓練、患者搬送訓練（SCUからの広域医療搬送含む）、透析患者の情報収集と搬送計画の作成、病院災害対応訓練及び病院支援訓練、DPAT活動訓練、災害時小児周産期リエゾン訓練、広域災害救急医療情報システム（EMIS）入力訓練
- 訓練参加機関：三重県内各医療機関、陸上自衛隊、消防本部、三重県
参加DMAT数 約70チーム（他県からの支援DMAT含む）

三重県の訓練概要 (2/2)

訓練組織図



和歌山県の訓練概要（1/2）

○日時

令和4年10月1日（土）8時00分開始

○場所

和歌山県庁、県内DMAT指定医療機関、南紀白浜空港、コスモパーク加太

○訓練想定

南海トラフ巨大地震（県内最大震度7）

○訓練概要

災害対策本部（災害医療調整本部）設置・運営訓練、DMAT活動拠点本部設置・運営訓練、DMAT参集拠点設置・運営訓練、SCU設置・運営訓練、地域医療搬送訓練、広域医療搬送訓練、ロジスティクス訓練等

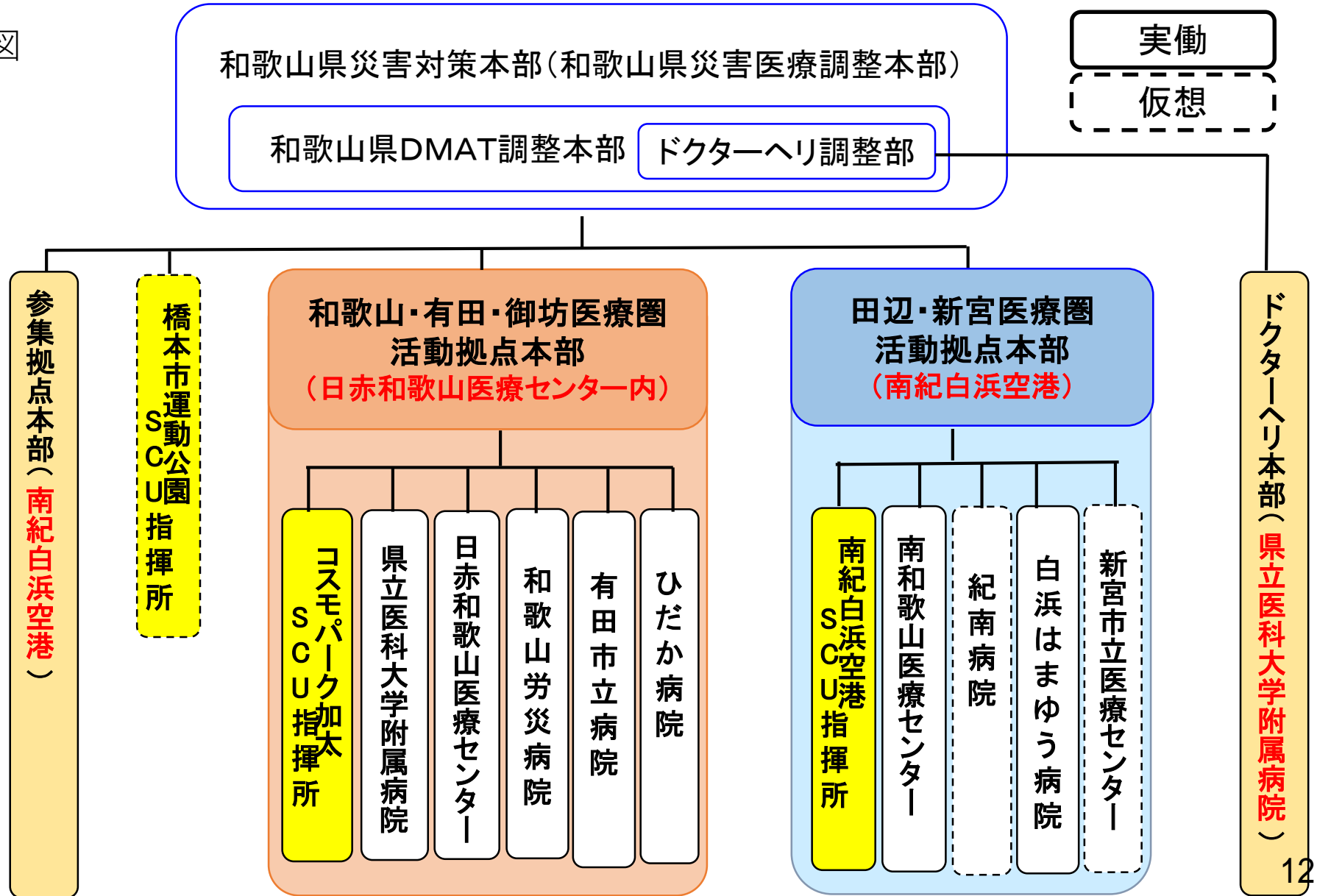
○訓練参加機関

和歌山県、厚生労働省DMAT事務局、DMAT指定医療機関、陸上自衛隊、災害時応援協定事業者 他

取材等に関する問い合わせ先
和歌山県福祉保健部健康局医務課
TEL：073-441-2604

和歌山県の訓練概要 (2/2)

組織図



北海道の訓練概要

- 日時：令和4年10月1日（土）11時00分開始（予定）
- 場所：航空自衛隊千歳基地
- 訓練想定：南海トラフ地震により愛知県等が被災したことを想定

○訓練概要

- ・ 県営名古屋空港等へ民航機でDMATを派遣
- ・ 千歳基地にSCU（航空搬送拠点臨時医療施設）を設置
- ・ 被災地から自衛隊機で搬送された傷病者（模擬）を千歳基地SCUへ受け入れて病院へ搬送。
- ・ DMAT参集拠点本部設置・運用訓練
- ・ EMIS（広域災害救急医療情報システム）入力訓練

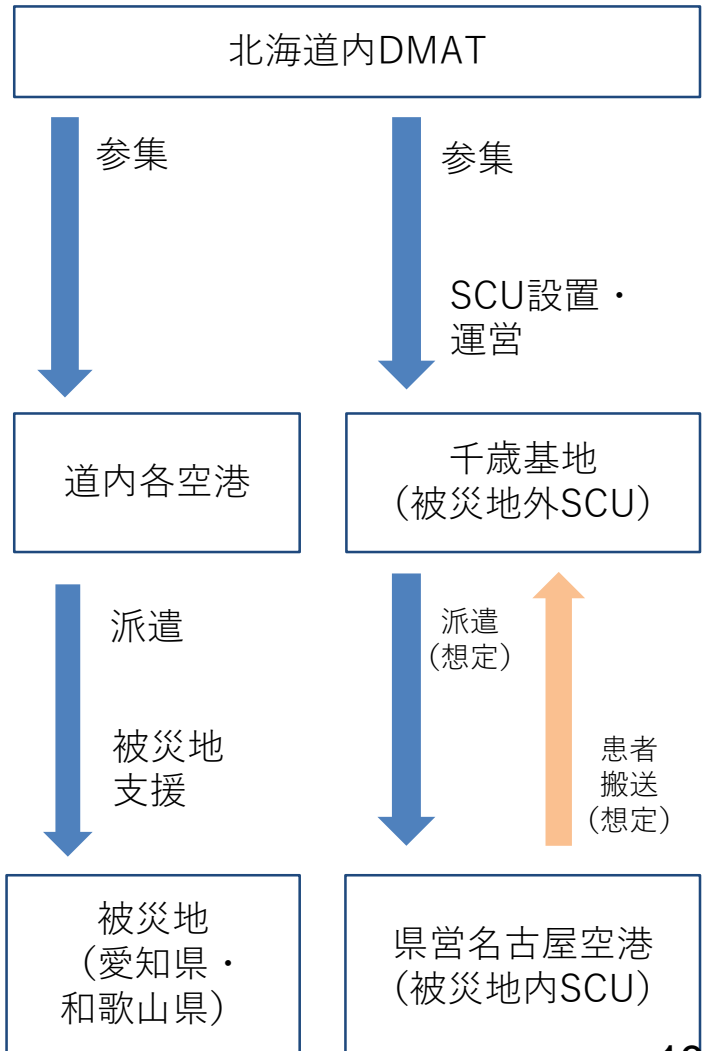
○訓練参加機関

[病院] 北海道内DMAT指定医療機関 14施設からDMAT15チーム等

[その他] 航空自衛隊千歳基地、北海道

訓練等に関する問い合わせ先
北海道保健福祉部地域医療課
TEL：011-204-5250（直通）

訓練概要図



富山県の訓練概要

○日時：令和4年10月1日（土）
15時00分開始（予定）

○場所：富山空港

○訓練想定：南海トラフ地震

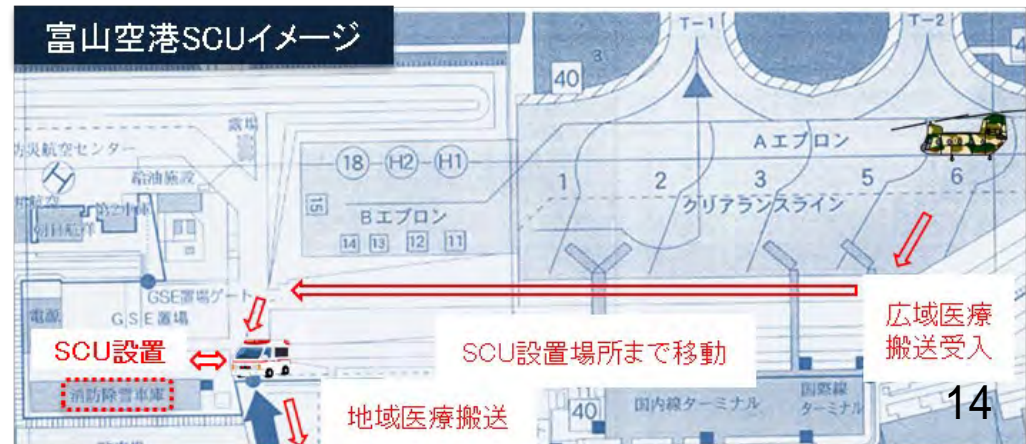
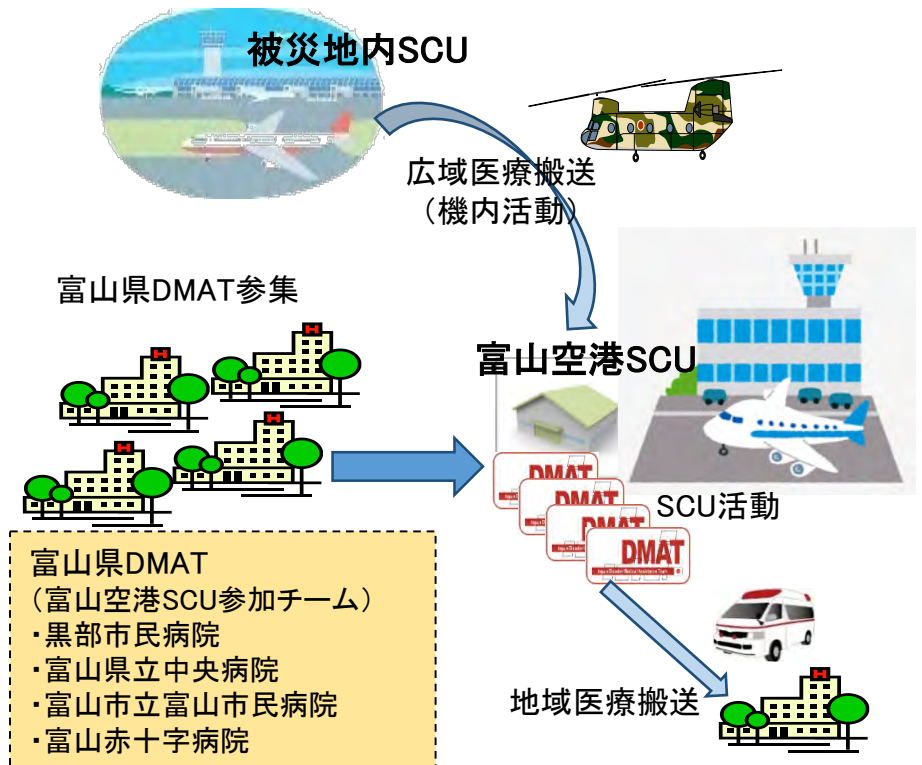
○訓練概要

- ・SCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の設置・運用
- ・自衛隊機による被災地からの傷病者受入 等

○訓練参加機関

県内DMAT指定医療機関（4病院）、
自衛隊、富山県

取材等に関する問い合わせ先
富山県厚生部医務課
TEL：076-444-3219



鳥取県の訓練概要

○日時：令和4年10月1日（土）13時00分開始（予定）

○場所：鳥取空港（鳥取砂丘コナン空港）

○訓練想定

南海トラフ地震により被災した和歌山県から、広域医療搬送を必要とする患者を鳥取県内へ移送

○訓練概要

被災地へのDMAT派遣、被災地SCUからの広域医療搬送患者の受入、災害拠点病院等への搬送

○訓練参加機関

災害拠点病院：鳥取DMAT（4病院、3チーム）
自衛隊、鳥取空港ビル株式会社
東部広域行政管理組合消防局
鳥取県、鳥取市（保健所）

取材等に関する問い合わせ先
鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課
TEL：0857-26-7228

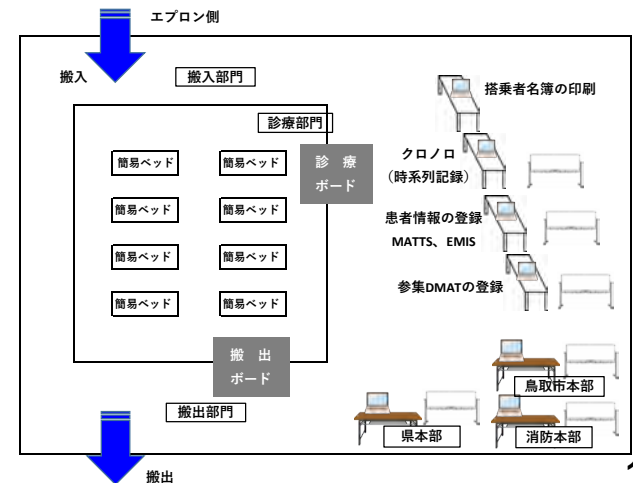
訓練概要図

（鳥取空港への搬送）



※鳥取1隊（広域医療搬送機内活動担当）は被災地へ

（鳥取空港での受入イメージ）



広域医療搬送訓練

- 訓練日：10月1日（土）
- 訓練内容：被災地内SCUから重症患者を被災地外SCUへ航空搬送

	発SCU		⇒	着SCU		使用機体		備考
①	北海道	千歳基地	⇒	愛知県	県営名古屋空港	-	-	仮想
②	愛知県	県営名古屋空港	⇒	北海道	千歳基地	-	-	仮想
③	静岡県	静岡空港	⇒	富山県	富山空港	回転翼機	CH-47	
④	三重県	伊坂ダム	⇒	愛知県	県営名古屋空港	回転翼機	UH-1	
⑤	和歌山県	南紀白浜空港	⇒	鳥取県	鳥取空港	回転翼機	UH-1	

<凡 例>

→ : 空路参集の流れ

→ : 患者搬送の流れ

被災地内拠点

被災地外拠点

